



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 キックマン株式会社

上場取引所 東

コード番号 2801 URL <https://www.kikkoman.com/jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 祥三郎

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起 TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	466,363	21.2	48,221	8.9	46,322	7.3	50,640	8.9	36,375	9.1	57,099	40.0
2022年3月期第3四半期	384,860	17.9	44,266	27.6	43,184	23.7	46,511	28.9	33,354	28.7	40,777	92.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	189.94	-
2022年3月期第3四半期	173.96	-

(注) 事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した段階利益です。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	550,912	406,721	399,949	72.6
2022年3月期	503,061	363,907	357,816	71.1

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	22.00	-	39.00	61.00
2023年3月期	-	30.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	31.00	61.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	596,700	15.5	55,100	5.4	52,800	4.2	56,200	3.6	40,700	4.6	212.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	193,883,202株	2022年3月期	193,883,202株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,404,965株	2022年3月期	2,345,706株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	191,507,781株	2022年3月期3Q	191,737,256株

(注) 期末自己株式数には、当社の取締役等を対象とする株式報酬制度の導入により採用した役員報酬BIP信託が保有する当社株式（2023年3月期3Q 58,100株、2022年3月期 一株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

第3四半期決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、景気は全体的には緩やかに持ち直しているものの、足踏みがみられる地域もあり、また、原材料、エネルギー価格の高騰が継続しており、依然として厳しい状況にありました。

そのような状況の中で、当社グループの売上は、国内については、しょうゆ、酒類が前年同期を上回ったものの、食品、飲料で前年同期に及ばず、食料品製造・販売事業全体で前年同期の売上を下回りました。海外については、食料品製造・販売及び食料品卸売事業ともに好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

その結果、当第3四半期の連結業績は次の通りとなりました。

## &lt;連結業績&gt;

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第3四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	2021年4月1日～ 2021年12月31日		2022年4月1日～ 2022年12月31日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 収 益	384,860	100.0	466,363	100.0	81,502	121.2	—	54,757	26,744	106.9
事 業 利 益	44,266	11.5	48,221	10.3	3,955	108.9	△1.2	6,428	△2,472	94.4
営 業 利 益	43,184	11.2	46,322	9.9	3,138	107.3	△1.3	5,917	△2,778	93.6
税引前四半期利益	46,511	12.1	50,640	10.9	4,128	108.9	△1.2	6,166	△2,038	95.6
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	33,354	8.7	36,375	7.8	3,020	109.1	△0.9	4,542	△1,521	95.4
USD	111.38		135.40		24.02					
EUR	130.85		140.42		9.57					

## &lt;報告セグメント&gt;

(単位:百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第3四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	2021年4月1日～ 2021年12月31日		2022年4月1日～ 2022年12月31日		金 額	%	売上 比差		金 額	%	
	金 額	売上比	金 額	売上比							
国内 食料品製造 ・販売	売上収益	116,461	100.0	112,248	100.0	△4,212	96.4	—	—	△4,212	96.4
	事業利益	11,178	9.6	8,101	7.2	△3,077	72.5	△2.4	—	△3,077	72.5
国内 その他	売上収益	16,179	100.0	16,572	100.0	393	102.4	—	—	393	102.4
	事業利益	1,449	9.0	1,531	9.2	81	105.6	0.2	—	81	105.6
海外 食料品製造 ・販売	売上収益	85,778	100.0	107,222	100.0	21,443	125.0	—	16,584	4,858	105.7
	事業利益	18,296	21.3	21,596	20.1	3,299	118.0	△1.2	3,314	△14	99.9
海外 食料品卸売	売上収益	190,741	100.0	257,107	100.0	66,366	134.8	—	40,187	26,178	113.7
	事業利益	13,868	7.3	17,846	6.9	3,977	128.7	△0.4	2,701	1,276	109.2
調整額	売上収益	△24,299	100.0	△26,788	100.0	△2,488	—	—	△2,014	△474	—
	事業利益	△528	—	△853	—	△325	—	—	413	△738	—
連 結	売上収益	384,860	100.0	466,363	100.0	81,502	121.2	—	54,757	26,744	106.9
	事業利益	44,266	11.5	48,221	10.3	3,955	108.9	△1.2	6,428	△2,472	94.4
USD	111.38		135.40		24.02						
EUR	130.85		140.42		9.57						

各事業別セグメントの業績の概要は次の通りであります。

## 【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

### (国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

#### ■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、テレビ宣伝を中心とした商品の付加価値を伝えるマーケティング施策等を継続しましたが、「いつでも新鮮」シリーズ、「特選 丸大豆しょうゆ」などのペットボトル品が前年同期を下回り、家庭用分野全体として前年同期を下回りました。加工・業務用分野は、外食店を中心に需要が回復し、前年同期を上回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を上回りました。

#### ■食品部門

つゆ類は、ストレートタイプつゆの「具麺」シリーズ、「濃いだし本つゆ」、白だしが好調に推移し、全体では前年同期を上回りました。たれ類は、前年同期を下回りました。「うちのごはん」は、前年同期を上回りました。デルモンテ調味料は、前年同期を上回りました。また、デルモンテ調味料は2022年5月、たれ類は2022年10月に原材料高騰等を背景とした価格改定を行いました。部門全体としては前期に食材事業を譲渡した影響により、前年同期の売上を下回りました。

#### ■飲料部門

豆乳飲料は、主力の調製豆乳1L、豆乳飲料1Lの売上が前年同期を下回り、全体として前年同期を下回りました。デルモンテ飲料は、前年同期を上回りました。また、デルモンテ飲料は2022年5月に原材料高騰等を背景とした価格改定を行いました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を下回りました。

#### ■酒類部門

本みりんは、家庭用分野では、「濃厚熟成本みりん」、高付加価値商品の「米麴こだわり仕込み本みりん」などが売上を伸ばし、加工・業務用分野も前年同期を上回りました。ワインは、前年同期を上回りました。また、本みりんは2022年10月に原材料高騰等を背景とした価格改定を行いました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上収益は1,122億4千8百万円（前年同期比96.4%）、事業利益は81億1百万円（前年同期比72.5%）と、減収減益となりました。

### (国内 その他事業)

当事業は、臨床診断用酵素・衛生検査薬、ヒアルロン酸等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

臨床診断用酵素は前年同期の売上を上回りました。この結果、部門全体としては前年同期の売上を上回りました。

この結果、国内 その他事業の売上収益は165億7千2百万円（前年同期比102.4%）、事業利益は15億3千1百万円（前年同期比105.6%）と、増収増益となりました。

**【海外】**

海外における売上の概要は次の通りであります。

**(海外 食料品製造・販売事業)**

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

**■しょうゆ部門**

北米市場においては、家庭用分野では、主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れており、当社のブランド力を活かした事業展開を行ってまいりました。また、加工・業務用分野では顧客のニーズに合わせたきめ細かな対応をし、事業の拡大を図りました。この結果、前年同期の売上を上回りました。

欧州市場においては、主要市場であるイギリスなどで売上を伸ばしましたが、欧州経済の低迷、ロシア・ウクライナ情勢による影響もあり、全体では前年同期並みの売上でした。

アジア・オセアニア市場においては、フィリピン、インドネシア、タイなどで売上を伸ばし、前年同期の売上を上回りました。この結果、部門全体では前年同期の売上を上回りました。

**■デルモンテ部門**

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。部門全体では前年同期の売上を上回りました。

**■その他食料品部門**

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。  
部門全体では前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上収益は1,072億2千2百万円（前年同期比125.0%）、事業利益は215億9千6百万円（前年同期比118.0%）と、増収増益となりました。

**(海外 食料品卸売事業)**

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。  
北米、欧州、アジア・オセアニアとも順調に売上を伸ばしました。  
この結果、卸売事業全体では、前年同期の売上を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上収益は2,571億7百万円（前年同期比134.8%）、事業利益は178億4千6百万円（前年同期比128.7%）と、増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期の連結業績は、売上収益は4,663億6千3百万円（前年同期比121.2%）、事業利益は482億2千1百万円（前年同期比108.9%）、営業利益は463億2千2百万円（前年同期比107.3%）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は363億7千5百万円（前年同期比109.1%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,667億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ266億4百万円増加いたしました。これは主に、営業債権及びその他の債権、棚卸資産が増加したことによるものであります。非流動資産は、2,841億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ212億4千7百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産、使用権資産、その他の金融資産（非流動）が増加したことによるものであります。

この結果、資産は、5,509億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ478億5千1百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、914億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ82億5千1百万円増加いたしました。これは主に、借入金（流動）が増加したことによるものであります。非流動負債は、527億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億1千3百万円減少いたしました。これは主に、リース負債が増加したものの、借入金（非流動）が減少したことによるものであります。

この結果、負債は、1,441億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ50億3千7百万円増加いたしました。

## (資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本は、4,067億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ428億1千3百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金及び円安の進行に伴う在外営業活動体の換算差額が増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は72.6%（前連結会計年度末は71.1%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、最近の2023年3月期第1四半期決算短信（2022年8月4日発表）により開示を行った業績予想から変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（2022年6月21日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	79,229	81,122
営業債権及びその他の債権	69,407	80,363
棚卸資産	82,700	91,790
その他の金融資産	2,541	4,842
その他の流動資産	6,313	8,678
流動資産合計	240,192	266,797
非流動資産		
有形固定資産	136,291	147,775
投資不動産	9,292	9,225
使用権資産	23,385	30,545
のれん	4,626	4,671
無形資産	4,947	4,862
持分法で会計処理されている投資	3,939	4,291
その他の金融資産	68,961	70,876
退職給付に係る資産	7,824	7,731
繰延税金資産	3,431	3,973
その他の非流動資産	167	160
非流動資産合計	262,868	284,115
資産合計	503,061	550,912



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	59,573	52,295
借入金	4,503	15,350
リース負債	4,313	5,360
未払法人所得税等	5,182	2,903
その他の金融負債	648	5,894
その他の流動負債	9,004	9,674
流動負債合計	83,225	91,477
非流動負債		
借入金	13,000	2,000
リース負債	21,643	28,057
繰延税金負債	8,754	10,093
退職給付に係る負債	5,322	5,469
その他の金融負債	4,023	3,956
その他の非流動負債	3,183	3,134
非流動負債合計	55,927	52,713
負債合計	139,153	144,190
資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	13,696	13,727
利益剰余金	297,116	320,756
自己株式	△6,808	△7,322
その他の資本の構成要素	42,212	61,188
親会社の所有者に帰属する持分合計	357,816	399,949
非支配持分	6,091	6,772
資本合計	363,907	406,721
負債及び資本合計	503,061	550,912

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	384,860	466,363
売上原価	247,975	310,314
売上総利益	136,885	156,049
販売費及び一般管理費	92,619	107,827
事業利益	44,266	48,221
その他の収益	1,797	1,588
その他の費用	2,878	3,487
営業利益	43,184	46,322
金融収益	5,766	9,800
金融費用	2,685	5,731
持分法による投資損益 (△は損失)	245	248
税引前四半期利益	46,511	50,640
法人所得税費用	12,770	13,853
四半期利益	33,741	36,786
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	33,354	36,375
非支配持分	386	411
四半期利益	33,741	36,786
基本的1株当たり四半期利益 (円)	173.96	189.94

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	33,741	36,786
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公 正価値の純変動	△836	1,712
確定給付制度の再測定	115	△26
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対す る持分	20	149
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	7,732	18,320
キャッシュ・フロー・ヘッジ	4	156
税引後その他の包括利益	7,036	20,312
四半期包括利益	40,777	57,099
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	40,051	56,129
非支配持分	726	969

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2021年4月1日残高	11,599	13,695	267,073	△3,658	2,308	23
四半期利益			33,354			
その他の包括利益					7,392	4
四半期包括利益	—	—	33,354	—	7,392	4
自己株式の取得				△2,513		
自己株式の処分		0		0		
株式に基づく報酬取引						
配当金			△8,825			
支配の喪失とならない子会社に対する非支配株主との取引						
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			116			
非金融資産等への振替						△26
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				△0		
その他の増減						
所有者との取引額等合計	—	0	△8,708	△2,513	—	△26
2021年12月31日残高	11,599	13,696	291,719	△6,172	9,700	2

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定	合計			
2021年4月1日残高	17,088	—	19,420	308,130	5,384	313,514
四半期利益			—	33,354	386	33,741
その他の包括利益	△806	105	6,696	6,696	339	7,036
四半期包括利益	△806	105	6,696	40,051	726	40,777
自己株式の取得			—	△2,513		△2,513
自己株式の処分			—	0		0
株式に基づく報酬取引			—	—		—
配当金			—	△8,825	△201	△9,027
支配の喪失とならない子会社に対する非支配株主との取引			—	—		—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△11	△105	△116	—		—
非金融資産等への振替			△26	△26		△26
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減			—	△0		△0
その他の増減			—	—	△0	△0
所有者との取引額等合計	△11	△105	△142	△11,364	△201	△11,566
2021年12月31日残高	16,271	—	25,973	336,816	5,909	342,726

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2022年4月1日残高	11,599	13,696	297,116	△6,808	24,600	104
四半期利益			36,375			
その他の包括利益					17,767	156
四半期包括利益	—	—	36,375	—	17,767	156
自己株式の取得				△514		
自己株式の処分		0		0		
株式に基づく報酬取引		59				
配当金			△13,220			
支配の喪失とならない子会社に対する非支配株主との取引		△28			3	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			484			
非金融資産等への振替						△296
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減						
その他の増減						
所有者との取引額等合計	—	30	△12,735	△514	3	△296
2022年12月31日残高	11,599	13,727	320,756	△7,322	42,371	△34

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定	合計			
2022年4月1日残高	17,506	—	42,212	357,816	6,091	363,907
四半期利益			—	36,375	411	36,786
その他の包括利益	1,866	△36	19,754	19,754	558	20,312
四半期包括利益	1,866	△36	19,754	56,129	969	57,099
自己株式の取得			—	△514		△514
自己株式の処分			—	0		0
株式に基づく報酬取引			—	59		59
配当金			—	△13,220	△246	△13,466
支配の喪失とならない子会社に対する非支配株主との取引			3	△25	△43	△68
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△521	36	△484	—		—
非金融資産等への振替			△296	△296		△296
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減			—	—		—
その他の増減			—	—		—
所有者との取引額等合計	△521	36	△777	△13,996	△289	△14,285
2022年12月31日残高	18,851	—	61,188	399,949	6,772	406,721

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。報告セグメントの決定にあたっては事業セグメントの集約を行っていません。

当社は、持株会社として主に、グループ戦略の立案、事業会社の統括管理を行っており、その下で、国内は事業会社を食料品の製造及び販売を主とする事業とそれ以外に区分し、海外は持株会社の海外管理部門が事業会社を食料品製造・販売事業と東洋食品の卸売を行う事業に区分し管理しております。

したがって、当社グループは、国内、海外の地域と事業の種類が複合された報告セグメントから構成されており、「国内 食料品製造・販売事業」、「国内 その他事業」、「海外 食料品製造・販売事業」及び「海外 食料品卸売事業」の4つを報告セグメントとしております。

「国内 食料品製造・販売事業」は、国内においてしょうゆ・食品・飲料・酒類の製造・販売を行っており、「国内 その他事業」は、医薬品・化成品等の製造・販売、不動産賃貸、運送事業及び間接業務の提供等を行っております。「海外 食料品製造・販売事業」は、海外においてしょうゆ・デルモンテ製品・健康食品の製造・販売を行い、また、海外向けの輸出販売を行っております。「海外 食料品卸売事業」は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

## (2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額である事業利益を使用しております。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報は以下の通りです。

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	国内食料品 製造・販売	国内 その他	海外食料品 製造・販売	海外食料品 卸売	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	114,237	5,706	74,343	190,573	384,860	—	384,860
セグメント間の売上収益	2,223	10,472	11,435	167	24,299	△24,299	—
合計	116,461	16,179	85,778	190,741	409,160	△24,299	384,860
セグメント利益	11,178	1,449	18,296	13,868	44,794	△528	44,266
その他の収益	—	—	—	—	—	—	1,797
その他の費用	—	—	—	—	—	—	2,878
金融収益	—	—	—	—	—	—	5,766
金融費用	—	—	—	—	—	—	2,685
持分法による投資損益 (△は損失)	—	—	—	—	—	—	245
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	46,511

(注) セグメント利益の調整額は、主として全社費用配賦差額であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	国内食料品 製造・販売	国内 その他	海外食料品 製造・販売	海外食料品 卸売	計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	109,843	6,052	93,446	257,020	466,363	—	466,363
セグメント間の売上収 益	2,404	10,520	13,776	87	26,788	△26,788	—
合計	112,248	16,572	107,222	257,107	493,151	△26,788	466,363
セグメント利益	8,101	1,531	21,596	17,846	49,075	△853	48,221
その他の収益	—	—	—	—	—	—	1,588
その他の費用	—	—	—	—	—	—	3,487
金融収益	—	—	—	—	—	—	9,800
金融費用	—	—	—	—	—	—	5,731
持分法による投資損益 (△は損失)	—	—	—	—	—	—	248
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	50,640

(注) セグメント利益の調整額は、主として全社費用配賦差額であります。